

デジタルサイネージ・パブリックディスプレイ導入事例

岐阜県庁様

行政棟と議会棟の新築にあわせて、各棟のフロア随所に明るく見やすいパブリックディスプレイとデジタルサイネージを導入
訪れる県民への情報提供や議会のパブリックビューイングを行い、親しみの持てる空間づくりを創出

導入した映像ソリューションとデバイス

■ デジタルサイネージシステム

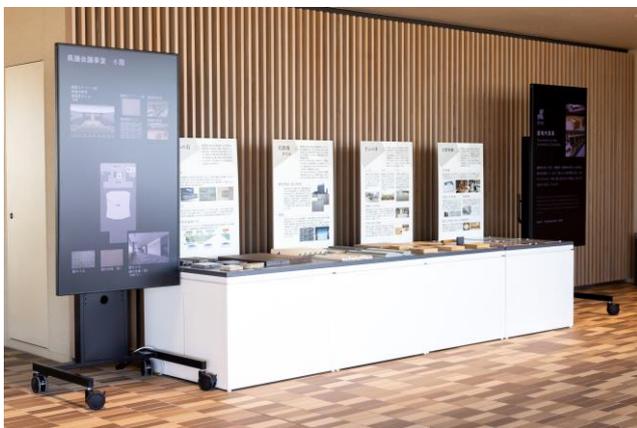
- 電子広告&掲示板システム AdWindow Select® SX

■ 液晶ディスプレイ MultiSync® シリーズ

- パブリックディスプレイ
 - 98型:LCD-V984Q ×2台
 - 65型:LCD-M651 ×75台
 - 55型:LCD-M551 ×4台
 - 43型:LCD-M431 ×5台
 - 43型:LCD-M431+タッチパネルカスタマイズ ×5台
- マルチディスプレイ用パブリックディスプレイ
 - 55型:LCD-UN552S ×6台



65型パブリックディスプレイで明るい場所でも見やすく訴求力の高いコンテンツを表示
紙ポスターに代わる多彩な情報の提供を行う



行政棟20階・清流ロビーに設置された65型パブリックディスプレイ
外光が入る明るい空間にもはっきりと見やすいデジタルサイネージで
県庁舎で使用している県産材や県産品の情報を表示



広い空間に設置された98型パブリックディスプレイで
遠くからでもはっきりと見やすい広報コンテンツ表示



岐阜県庁

所在地：岐阜県岐阜市葦田南二丁目1番1号

URL：https://www.pref.gifu.lg.jp/

事例のポイント

■ 課題背景

- 行政棟と議会棟の新築にあわせて、デジタルサイネージを使用して、分かりやすい情報表示を行いたい。
- ポスターやチラシの掲出期間の管理や、貼り替えの人的作業をデジタル化したい。
- パブリックディスプレイを利用して、より多くの県民に、議会の傍聴ができる場所を作りたい。
- 県議会議員や幹部職員の登庁状況を示す出退表示を、新庁舎の建設にあわせて新調したい。

■ 成果

- 1階ホワイエや20階の清流ロビー(展望フロア)に設置した大型パブリックディスプレイで、静止画・動画を使った県政やイベント告知コンテンツなどをPRできる環境を構築。
- データで一斉に差し替えが可能となり、掲出期間にあわせて入れ替えや緊急時の表示も容易に。管理業務の負担が軽減。
- 火災や地震などの非常時には、連携したシステムから情報を表示し、音声に加え、「見える情報伝達」が可能に。

岐阜県庁様

行政棟・議会棟内に設置されたディスプレイで、見やすい情報表示とスムーズな管理

導入の背景や課題

■ 行政棟と議会棟の新築にあわせて、新たな情報発信を行いたい

県内に複数の一級河川が流れる清流と豊かな自然の国、岐阜県。県議会をはじめ、県のさまざまな行政事務を行う県庁では、県庁舎の建て替えに伴い、情報発信においても新しい取り組みを検討してきました。その一つが、デジタルサイネージや、パブリックディスプレイ(大型液晶ディスプレイ)を利用した情報共有です。「これまで県庁内の情報発信としては、管財課が管理している掲示板だけでなく、各課ごとに廊下に掲示したり、管財課管理の共有スペースに掲示したりと、あらゆる場所にポスターを掲示してきました。指定の掲示板には

一定期間掲出しますが、それぞれの掲出物ごとに期間が決まっているので、期間が過ぎたものは取り外す必要があります。取り外すとしても数量が多いため、管理が煩雑になりがちでした。また、掲出するポスターについても色や大きさがまちまちのため、雑然とした印象も否めませんでした」(岐阜県管財課) もう一つ課題となっていたのが、出退表示と呼ばれる、幹部職員の出退勤状況を示す装置です。「登庁している幹部の札にランプが点灯するものですが、組織改正時に役職の変更があるため、札を新しく作る

必要があり、時には急な変更が必要となるケースもあり、メンテナンスするにも札の入れ替え工事が発生するため、更新が大変でした。そのような背景があり、より管理しやすいものにしたいと考えようになりました」(岐阜県管財課) 岐阜県ではさまざまな問題を解決するため、デジタルサイネージを検討。行政棟や議会棟の建て替えの設計にあわせて設計者と相談しながら、設置する場所やディスプレイのサイズ、数量などを決めていきました。

選択のポイント

■ 設置する場所のスペースを考慮し、さまざまなサイズのパブリックディスプレイを適材適所に配置

行政棟および議会棟の建築は公共事業であり、導入するデジタルサイネージやディスプレイ機材についても入札で決定します。そのため、コンテンツの管理・配信方法、ディスプレイの大きさや設置場所、スタンドか壁面取り付けかなどを設計者と相談しながら必要な要件をまとめていきました。入札を経て令和4年9月に竣工し、行政棟と議会棟をあわせて約90か所にディスプレイが設置され、デジタルサイネージの活用が始まりました。来庁者の多くが訪れる1階ホワイエと20階の清流ロビーは広いスペースがあるため、大きく見やすい情報表示ができる98型の大型パブリックディスプレイが設置されました。「20階は岐阜の景色を一望できる展望台になっているため、旧庁舎に比べるとはるかに来庁者が増えました。そこに98型の大きなディスプレイで静止画はもちろん、動画コンテンツも流せるのでとても訴求力の高いコンテンツが表示できていると思います。さすがに98型は目立つようで、景色だけでなく、サイネージを長い時間見ていかれる方も多そうですね」(岐阜県管財課)

議会棟の2階に設置されたディスプレイでは、県議会や委員会の様子が傍聴できるようになっています。こちらは55型を6面設置したマルチディスプレイになっています。「40~50名ほどが座れるよう、テーブルと椅子を配置しています。立ち見も含めるとかなりの人数が傍聴可能です。委員会室内には10名分の傍聴席がありますが、より多くの方に県議会や委員会の様子をご覧いただけるようになりました。開かれた議会として、県政を県民にお伝えしたいという思いがこのような形で実現できました」(岐阜県管財課) このマルチディスプレイの他にも、議会棟各所に約30台のディスプレイが設置され、情報の共有手段として活用されています。そしてデジタルサイネージシステムとしてAdWindow Select SXを使用。AdWindow Select SXが得意とする機能の一つにデータ連携があります。各施設の予約状況や、県庁で行っている太陽光発電の発電量状況などは毎日表示され、災害時には地震速報のJアラートや火災報知器が感知したデータの連

携により、危険から身を守り、避難を促すサイネージも用意されています。「連携している情報を基に、緊急時には地震や火災の情報を表示できるので、聴覚障がい者にも分かりやすくお知らせできます」(岐阜県管財課) 県議会議員の登庁状況は、タッチパネルになりました。登庁時にタッチパネルに触れると、名前が黄色く光るようなイメージに変化し、リアルタイムで議会棟受付に設置されたディスプレイの表示も自動的に更新します。「普段の操作が容易なだけでなく、組織改正の際も表示変更だけで済むため、以前のような工事が発生するようなメンテナンスではなく、データを更新するだけになったことで、非常にメンテナンスが手軽になり、管理費用の削減も大きなメリットになっています。そして、表示されている太陽光発電量コンテンツは、エネルギー使用量の削減目標に向けての意識付けの一端を担っています」(岐阜県管財課)



議会の様子を傍聴できるスペースに設置された55型6面マルチディスプレイ



43型パブリックディスプレイで、太陽光発電量コンテンツを表示し、省エネルギーへの意識を高める



議会棟2階に設置された43型パブリックディスプレイによるタッチパネル

導入後の成果

■ 開かれた県政の象徴として、新たな情報提供も視野に

デジタルサイネージの導入により、情報の更新や管理の作業が非常に軽減されました。「出退表示については、異動のたびに必要だったメンテナンス工事が不要になり、管理が格段に楽になりました。明るくて見やすくなったこともあり、職員からも大変好評です」(岐阜県管財課) 表示する情報については、県政に関連する情報は重要性が高く、常に最新情報を発信するため、毎週更新されています。また、パブリックディスプレイがさまざまな場所に設置されていることで、県庁を訪れる全ての人、県民、職員

のそれぞれにマッチしたコンテンツを選んで表示させているため、AdWindow Select SXの管理画面から柔軟に選択することが可能です。「ロビーのディスプレイについては、県内のいどこで何が行われるかの意識を高めるために、主に県のイベント開催情報などを表示していますが、お客様が通られる場所でもあるので、要望に応じてウェルカムボード的なコンテンツを表示するような使い方もしています。都市公園を所管している部署では、四季折々の公園の風景や花の写真などを表示させたいという要望もあがっていましたが、すぐに対応できました」(岐阜県管財課)

今後は、議会棟にある6面マルチディスプレイや98型の大型ディスプレイの活用をより進めていく計画があるそうです。「会期中に表示している議会の様子以外にも、見学に来られる方に役立つ情報などのコンテンツを検討し、さらに充実した情報発信を考えています」(岐阜県管財課) このようにデジタルサイネージの活用が進むことで、情報提供から始まった行政サービスを向上させ、地域社会の発展に貢献していきます。

お問い合わせは、下記へ

NEC スマートデバイス統括部

〒211-8666 神奈川県川崎市中原区下沼部1753

URL: <https://jpn.nec.com/d.signage/>

2024年3月現在